



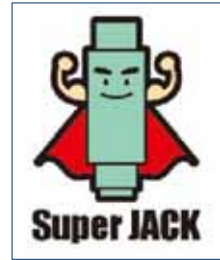
JFEシビルの立坑スリップフォーム工法

スーパージャッキシステム テクニカルノート

スライド工法

トンネル工事や地下設備の立坑工事でスリップフォーム工法が作業の安全性向上、効率化に寄与します。

足場、型枠、コンクリート投入装置を装備したジャッキアップ作業床によってコンクリート壁の連続施工を行います。



特長

1. 大規模な足場が不要で深い立坑工事の安全性と作業性を向上できます。
2. 足場、型枠の盛替え作業が不要で工期短縮に寄与します。
3. ロッド式ジャッキシステムにより、安全で確実な昇降制御ができます。

立坑スリップフォーム工法イメージ

センターホールジャッキ内の上下2箇所、爪がロッドを掴んで、装置全体をスライドアップします。

配筋、コンクリート打設

➔

鉄筋、支持ロッド接合 作業床上昇

立坑内の作業床を上から見たところ

作業床の内部

実施状況



上部デッキでの鉄筋組立状況



中間デッキでの鉄筋組立



スライド型枠内へのコンクリート充填



スライドアップ後のコンクリート仕上



深さ110mの立坑下部からみた作業床



JFE シビル 株式会社

スーパージャッキシステム

〒111-0051

東京都台東区蔵前2丁目17番4号 JFE蔵前ビル
都市基盤営業部 特殊工法グループ

TEL 03-3864-5293

FAX 03-3864-3735

<http://www.jfe-civil.com/tokkou/index.html>

